

SAKURA

2015.3 March

No. 241

友情を育み、国際的な感覚を身につける

## CONTENTS

- 02 / 【特集】友情を育み、国際的な感覚を身につける
- 04 / 行事ピックアップ
  - (社会調査、経済ゼミナール大会、サッカースクール)
- 05 / (のびのび幼稚園、さくら幼稚園)
- 06 / (観光コンテスト)、地域の「知」
- 07 / 学生の活躍 (秋田市新成人のつどい、ミスあきたこまち)  
部活動の活躍 (高校吹奏楽部)
- 08 / 文学賞授賞式





### 永続的な交流を望む

12月14日から3日間、姉妹校提携を結んでいる淡水高級商工職業学校（台湾 新北市）の教員、生徒35人が明桜高校を訪りました。

15日には、高校の体育館で全体歓迎会を行ったほか、各クラス、もつつきなどで両校の生徒たちが交流をしました。歓迎会でいさつに立った淡水商工の張添州校長は「外は雪が降り、寒いですが、皆さんからの歓迎を受けて心が温まりました。これからも10年、20年それ以上に交流を続けていきたいと思います」と述べました。

### 交換留学で貴重な体験を

また、1月8日から3月下旬まで、同校から3人の生徒を短期留学生として迎えています。3人は2年生のクラスで、日本

語や秋田の習慣を勉強しながら、各クラスでの親睦を深めています。今年の4月には明桜高校の生徒が台湾で短期留学をし、異国の文化にふれる機会を設けることにしています。

### 台湾短期留学生の参加行事一覧

- |    |                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------|
| 1月 | 校外研修…男鹿市、秋田市<br>各種教室…スキー教室、英会話教室(附属さくら幼稚園)                              |
| 2月 | 校外研修…西木町紙風船上げ、火振りかまくら<br>各種教室…スキー教室、英会話教室(附属さくら幼稚園)<br>サッカー教室(附属さくら幼稚園) |
| 3月 | 校外研修…スケート教室、岩手県平泉市                                                      |

※そのほか、日本語教室(毎週火曜日・金曜日 5・6時間目)

### クローズアップ

### 高校時代の交流が、国際社会への視野を広げた

真理大学に留学した斎藤郁哉さん（明桜高校 卒 ノースアジア大学観光学科2年）に話を聞く

### 海外留学への思いがふくらむ

明桜高校に通っていた兄から、淡水商工へ研修旅行に行つた話を聞き、台湾に興味を持つようになりました。もともと



海外への興味はありました、高校時代の台湾への研修旅行や来校した淡水商工の生徒のパートナーとして留学期間中一緒に行動したことからも影響を受けました。そして高校3年生の4月から3ヶ月間、淡水商工へ短期留学をしました。この期間は、ホームステイを経験。事前に高校で中国語も勉強しましたが、やはり実力はまだまだで、もっと中国語を覚えたいと強く思うようになりました。それでも生活をする中で少しづつ上達したことがうれしかったです。

### もう一度、台湾で勉強したい

「留学したい」「中国語をもっと覚えたい」という気持ちから、台湾の大学と提携しているノースアジア大学を選択し、入学しました。入学後、念願がかない、大学1年生の2月から約1年間、真理大学（台湾）に留学。この期間、クラスメイトをはじめいろいろな人と交流する機会が増え自分が育った文化との違いを多く感じました。その一つひとつ経験が成長につながっていると思います。海外留学を経て、自分に自信がつき、積極的な行動ができるようになり、将来の選択肢が広がりました。

# 際的な感覚を身につける

## 交流を通して世界が身近に — 『短期留学生』と『パートナー』に聞く

たいくしん

戴郁芯さん (淡水高級商工職業学校からの短期留学生)



Q.留学をしようと思った理由は?

A.日本語の勉強をしたいと思いました。また、日本の学校と台湾の学校の違いを自分の目で見て体験したいと思いました。

Q.明桜高校では、どんなことを勉強していますか?

A.日本語を中心に勉強をしています。生徒も先生も親切で優しく、日本での勉強がすごく楽しいです。

Q.台湾に戻ったら、日本のどんなことを伝えたいですか?

A.日本と台湾の文化の違いを、友人たちに伝えたいと思います。ほかにも、明桜生が優しかったことや、スキー・やさくら幼稚園での英語教室など、校外研修で体験したことも紹介したいです。

齊藤一郎さん (明桜高校2年E組 留学生のパートナー)



Q.留学生と接していくて考えたこと、感じたことは?

A.留学生たちは、一生懸命に勉強をしています。その姿から刺激を受けて、授業や復習などに一層力を入れるようになりました。言葉も、通じるときと通じないときがありますが、伝えようとする気持ちが大事だと思いました。

Q.外国や海外への意識の変化はありましたか?

A.小さい頃から海外に興味はありました。ますます興味を持つようになりました。機会があれば、台湾にも行ってみたいと思います。

Q.日本にいる間、留学生に伝えたいことはありますか?

A.日本語をもっと伝えたいと思います。それと、日本の文化を知ってほしいと思います。台湾に戻った後、友人たちに日本のことなどを紹介してほしいです。

櫻庭芽依さん (明桜高校2年F組 留学生のパートナー)



Q.留学生とは、どのようにコミュニケーションをとっていますか?

A.お互いに伝えたいことがうまく表現できないときには、よく留学生が紙に書いて気持ちを伝えてくれます。特に不便に思ったことはありません。とても楽しく会話をしています。

Q.外国や海外への興味はわきましたか?

A.これまであまり目を向けなかった海外や台湾を身近に感じることができました。

Q.留学生が明桜高校で勉強している姿を見て、どう感じますか?

A.何事にも積極的なところがすごいと思います。日本の方が好きで、校外研修などでは、いろいろなことに興味を示し、感動している姿を見ると、本当にうれしくなります。



### 新北市立淡水高級商工職業学校

1985年創立。所在地：新北市淡水区。3年制。商工業、サービス業における基本的技術を習得した人材を育成し、職業学校の発展のため、研究および実践的に勉強する機会の提供を目的に創立。ビジネス経済科、データ処理科、電子科、園芸科、飲食管理科などを含む12学科で構成されている。

## 雪による障害を考える — 学生たちの社会調査

法律  
学科

1月19日から4回にわたって、法律学科の学生による社会調査・除雪ボランティア『お年寄り世帯の雪による生活障害に関する社会調査』を行いました。

1月21日は、三吉南町内と駅東団地町内（以上、秋田市）で、住民の方からの聞き取り調査と除雪を行いました。この日参加した学生からは「道路が狭いところでは地域と連携した対応が必要だと感じました」「業者が雪寄せをした後の雪の処理が大変だということが分かりました」「大学生は、体



力があるので雪寄せもスムーズにできますが、お年寄りにとっては大変な作業だと感じました。今日は、住んでいる方の力になることができてうれしかったです」といった感想が聞かれました。

学生たちはこのあと、聞き取り調査・活動内容を報告書にまとめて、地域住民を交えた報告会を開催する予定にしています。

### 日々の成果を発表する

#### — 経済学部ゼミナール大会 —

経済  
学部

12月17日、経済学部ゼミナール協議会主催の「第26回経済学部ゼミナール大会」を開催しました。今大会のテーマは勤勉という意味が込められている『industrious』。スライドを使って発表するプレゼンテーション部門と、指定されたテーマについて意見を出しあう討論部門に分かれて行い、どの会場も活気に満ちていました。

### 高校生と園児が交流を深める

#### — 冬休みサッカースクール —

明桜  
高校

1月8日、明桜高校の体育館で、男女サッカーチーム員と、のびのび幼稚園・保育園、さくら幼稚園の園児、卒園児が、サッカーを通して交流をしました。この日は、準備体操や追いかけっこをして体を温めた後、3つの班に分かれ、パスやシュート、リフティングを取り入れたゲームなどを行っていました。高校生はサッカーを楽しめるように参加した園児・卒園児に優しく教えていました。

## 行事ピックアップ

### のびのび幼稚園



#### おうちの人とたのしいひととき

10月18日、のびのび幼稚園・保育園で秋祭りを行いました。園内には、輪投げやお菓子つり、ヨーヨーなど、たくさんのお店があって、園児たちは、どのお店に行こうか、まよっていました。また、保護者会の皆さんによるバザーも人気でした。さわやかな秋晴れのもと、みんなで楽しいときを過ぎました。

### さくら幼稚園



#### 歌っておどって、はなやかに発表

11月15日、さくら幼稚園で園祭をひらきました。この日を楽しみに待っていた、おうちの方も、たくさん見に来てくれました。はと組の園児によるあいさつが終わると、いよいよステージの幕開けです。カラフルな衣装を身につけた園児たちは、先生と一緒に練習してきたことを、堂々とステージで発表。最後の合唱も、みんなで大きな声で歌うことができました。



#### 元気よく発表した、おゆうぎ会

11月15日、のびのび幼稚園・保育園で、おゆうぎ会をひらきました。はじめは、保育園の園児たちの登場です。発表が終わって、先生に名前を呼ばれると、どの園児たちも、元気な返事をしていました。続く、幼稚園の園児の発表は、おゆうぎやオペレッタ、合唱など、見てたえたっぷりのステージ。最後は、年長さんの代表が「これからも、みんなで力をあわせて、がんばります」と、元気にあいさつをして、おゆうぎ会は幕をとじました。



#### おもちをつくのって楽しいな

12月10日、さくら幼稚園で、もちつき会をひらきました。熱々のおもちは、お米のにおいがふわっと広がって、とてもいいにおい。園児たちは、次々に運ばれてくるおもちに大喜びです。みんなで声をかけあいながら、順番に、おもちをついていきました。お昼ごはんの時間に「あんこ」と「きなこ」の味のおもちを、みんなでおいしくいただきました。

# 身近な地域の魅力をプレゼンテーション 第2回 高校生「私達のまちの観光魅力アップ作戦」コンテスト開催

観光  
学科

11月21日、ノースアジア大学で高校生を対象とした「私達のまちの観光魅力アップ作戦」コンテストの本選を開催しました。コンテストの本選には、14チームが参加。高校生の視点で考えた地域おこしや観光振興などにつながるプランを発表し、内容を競いました。

審査の結果、秋田のお茶「増香茶」の取り組みを発表した増田高校が最優秀賞を受賞しました。このプランは、秋田の農業の軸となっている米（古米）を使い、商品化まで行っている点が審査員から評価されました。

また、優秀賞には、観光情報を提供するWebの問題点、利便性をあげる提案をした五城目高校と、県内で撮影した映画のロケ地を周遊する旅行を提案した明桜高校が選ばれました。

## 審査結果

**最優秀賞** 秋田のお茶「増香茶」（土産品・特産品開発）

増田高校

**優秀賞** あきたはなまるネットで市町村をPR（観光情報プラン）

五城目高校

映画で見る秋田の地域再生（観光マップ）

明桜高校

## 地域の知

### 豊かさの意味を考える — 雪国民俗館シンポジウム開催



10月25日、雪国民俗館では「豊かさの意味を考える」をテーマに、第5回民俗学シンポジウムを開催しました。この日は、本学の教員4人が「豊かさ」をキーワードに、教育、文学、食べ物、自然など、多岐にわたる研究内容を発表しました。

また、この日は、雪国民俗学研究会に所属する学生も参加し、調査内容を発表しました。『ナマハゲのケデを見て疑問に思ったこと』をテーマに報告した斎藤聰明さん（経済学科3年）は「雪国民俗館に展示している数々のワラ製品を見て

ナマハゲの衣装にも使われているケデには、さまざまな呼び名があることを知りました。それぞれの名前や使い方についてもっと知りたいと思い、今回、調査してみました。図書館で文献調査をしたほか、雪国民俗学研究会の顧問の先生から資料などを紹介してもらい、準備を整えました。研究会での調査は、新しいことを知る、良い機会になっています。今後も積極的に活動に参加して、秋田に伝わる伝統的な風習などの知識を得たいと思います」と話してくれました。



# 新成人を代表し、企画・運営を行う — 秋田市新成人のつどい



1月11日、秋田市の「新成人のつどい」が市立体育館を会場に行われました。

このイベントは、毎年、新成人の代表が運営協力委員として、企画・運営に参加しています。今年のつどいでは、ノースアジア大学の鈴木茉依さん、宮田真冬さん（ともに観光学科2年）が委員を務めました。二人とも、式の運営に携わった達成感を得たとともに、新成人として新たな思いで大学生活を充実させたいと感じたようです。二人の感想をご紹介します。

「ステージ企画や、著名人へのビデオメッセージ出演依頼など、たくさんの仕事を、分担して取り組みました。当日を振

り返ってみると、この仕事に携わることができて本当に良かったと思っています。成人式を終え、大人の仲間入りをしたことを実感しました。これから、たくさんの経験を積み、責任をもって行動できる人になりたいと思います」（鈴木さん）

「新成人の抱負を述べる担当になり、観光学科の学生ならではの内容にしようと決意しました。『観光客を増やし、秋田を全国、世界にPRしたい』との思いを込めた内容にしました。周囲からの反響も大きく、一生に一度の記念になりました。成人をむかえたので、選挙に行くなど、未来のことを考え、大人としての役割を果たしていきたいです」（宮田さん）

## ミスあきたこまちとして活躍 — 秋田米の良さを伝える —

ノースアジア大学の佐藤侑美さん（観光学科1年）が「ミスあきたこまち」として、県内外で秋田米の宣伝活動を行っています。佐藤さんはこれまで、あきたこまちの新しいテレビCMの発表会見のほか、主に県外のデパートなどで、秋田米の宣伝活動を行いました。

佐藤さんは「今後は、秋田米の良さを伝えるだけではなく、観光地や温泉など、秋田の魅力をたくさん伝えていきたいと思います。県外の方と秋田をつなぐ架け橋になれるように、これからもがんばります」と話してくれました。



## 部活動の活躍

# 祝 木管8重奏が金賞を受賞 — 高校吹奏楽部

1月18日、全日本アンサンブルコンテスト第37回秋田県大会が行われ、地区予選を勝ち抜いた明桜高校吹奏楽部の木管8重奏、フルート3重奏の2組が出場しました。この大会は、3月の全国大会につながる東北大会への予選を兼ねています。

演奏の結果、木管8重奏は、金賞。フルート3重奏は、銀賞を受賞しました。惜しくも、昨年の木管8重奏に続く東北大会への出場は逃しましたが、この大会では、5年連続の金賞

となりました。

木管8重奏でクラリネットを演奏した齋藤彩花さん（2年）は「地区大会よりもまとまりがあり、良い演奏をして金賞を獲得することができました。県大会までに、学年、楽器の枠を超えて、8人が素直に話し合い、お互いの理解を深めたことが、この結果につながったと思います」と大会の感想を話してくれました。



## ノースアジア大学文学賞授賞式

主催 ノースアジア大学総合研究センター 後援 秋田県・秋田県教育委員会



優秀作品が多く集う

## 第7回ノースアジア大学文学賞授賞式

11月8日、本学古田記念講堂を会場に、ノースアジア大学文学賞授賞式を開催しました。今回で7回目を迎える文学賞には、全国から378編の応募作品が寄せられ、各部門の受賞者を表彰しました。

式終了後、記念コンサートを行い、ノースアジア大学、明桜高校、秋田市立桜中学校の各吹奏楽部による演奏と歌で、受賞者を祝福しました。

高校生の部門（エッセイの部）で最優秀賞を受賞した松橋賢汰さんは「（エッセイを）書いていく中で、内容が変わっていましたが、最終的には、よくできたと思います。審査した先生の講評にあつたように、もう少し工夫が必要な部分があったので、その点を考えて来年も応募したいと考えています」と話してくれました。



## 【高校生の部門】

エッセイ(自由作品)の部

## 最優秀賞

クローバー	松橋 賢汰	秋田市
-------	-------	-----

## 優秀賞

時計修理と芋洗い	昆 美里	秋田市
----------	------	-----

コトバの空	斎藤のぞみ	秋田市
-------	-------	-----

マーマレードの空	三浦 彩華	秋田市
----------	-------	-----

日本で生きる	朴 依眞	秋田市
--------	------	-----

## 内館牧子特別賞

ハーフ・ハーフ	後藤ゆうひ	横手市
---------	-------	-----

石川好特別賞		
--------	--	--

田舎	相馬 菜美	秋田市
----	-------	-----

## 短編小説の部

## 優秀賞

ワンピースがひるがへる日	中島 夏希	秋田市
--------------	-------	-----

## 学校賞

宮城県石巻北高等学校飯野川校
----------------

秋田県立横手高等学校
------------

## 【大学生・一般の部門】

エッセイ(自由作品)の部

## 最優秀賞

私が一番幸せだった時	大野かほる	兵庫県
------------	-------	-----

優秀賞		
-----	--	--

右腕のメロンパン	後藤 順	岐阜県
----------	------	-----

夫人との文通	出雲 弘紀	大阪府
--------	-------	-----

待つ女	宮本 肇	神奈川県
-----	------	------

内館牧子特別賞		
---------	--	--

ブルーライトヨコハマ	間島 真紀	兵庫県
------------	-------	-----

石川好特別賞		
--------	--	--

甲州商人 紺屋又兵衛口伝	市川 勝茂	山梨県
--------------	-------	-----